



にいいみ
市議会だより

2025年 8月
第30号

新見市議会広報紙 6月定例会

目次

- ② 新しい議会構成になりました
- ④ 各委員会報告
- ⑦ 9月定例会（予定）
- ⑨ 一般質問（個人質問）
- ⑬ 市民の声・編集後記

議会が変われば まちが変わる

新しい議会構成になりました

議長あいさつ



新見市議会
議長 藤澤 正則

本市は、人口減少という大きな課題に直面しながらも、地域資源の活用や住環境の整備、若者・子育て支援など多角的な対策を講じています。今後も地域全体で協力しながら持続可能なまちづくりを進めていくことが求められており、議会としても市民福祉の向上に一層努めていかなくてはなりません。

さて、4月13日に執行された市議会議員一般選挙の投票率は、過去最低の62・54%となり、強い危機感を持っております。

新見市議会も第6期目がス

タートンを切りました。新人議員5人が加わり、平均年齢も59・8歳、実に6歳の若返りが図られ、活発な議員活動に努めていきたいと考えています。

本市議会では、「若者・女性議会」や「議員の評価制度」「議会モニター制度」創設にも積極的に取り組みます。また、「市長・市議の同日選挙の実施」は5月29日に議員14名で議員連盟を発足させ具体的な活動を開始しました。さらに「議会議員の定数の見直し」、「女性の政治参画推進」は今後特別委員会での議員間討議を重ねて参ります。

議会改革は不断の課題であり、市民に信頼され市民に寄り添った議会運営に一層努めて参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

委員長あいさつ



議会広報特別委員会
委員長 宮本 英基

令和7年4月に開催されま

した新見市議会臨時会において、議会広報特別委員会の委員長という大役を仰せつかりました。身の引き締まる思いで、職責を果たして参ります。

にいま市議会だよりは、平成30年5月の創刊以来、今回で通算第30号を迎えることができました。4年間にわたり委員長を務めさせていただく中で、市民の皆さまにとって見やすく親しみやすい紙面づくりを心がけて参りました。具体的には、文字サイズ拡大やユーチューブ配信、市民の声を掲載するコーナーの新設

などに取り組みました。

今年度の議会だよりは「子どもや若者」に焦点を当て、市民の皆さまにより関心を持っていただける内容を発信していきたいと考えております。今後とも、さらに見やすく、親しみやすい紙面づくりに努め、より多くの市民の皆さまに手に取って読まれる「にいま市議会だより」を目指して参ります。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長	宮本 英基
副委員長	橋本 亨子
委員	赤木 三郎
委員	橋本 尚典
委員	木下 智義
委員	林 司朗
委員	峠田 一也
委員	仲田 芳人
委員	古川 英明

議会広報の充実に関する事項、議会広報紙の発行に関する事項を調査します。

総務消防常任委員会

総務部、消防本部、選挙管理委員会、出納室、監査委員が所管する事務に関する調査及び議案、請願等を審査します。

委員長 林 司朗

副委員長 橋本尚典

委員

赤木三郎

堀江 裕

谷本 浩章

峠田 一也

古川 英明

宮本 英基

津島 大孝

岡崎 裕生



文教福祉常任委員会

市民生活部、健康福祉部、教育委員会が所管する事務に関する調

査及び議案、請願等を審査します。

委員長 仲田 芳人

副委員長 谷本 浩章

委員

赤木 三郎

橋本 尚典

木下 智義

林 司朗

古川 英明

小河 俊文

橋本 亨子



産業建設常任委員会

産業部、建設部が所管する事務に関する調査及び議案、請願等を審査します。

委員長 峠田 一也

副委員長 堀江 裕

委員

木下 智義

仲田 芳人

宮本 英基

小河 俊文

津島 大孝 橋本 亨子
岡崎 裕生



予算決算常任委員会

予算議案に関する事項、決算認定議案に関する事項、予算決算等市財政に関する事項の調査及び議案を審査します。

委員長 古川 英明

副委員長 木下 智義

委員は、議長を除く全員

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例

等に関する事項、議長の諮問に関する事項を調査します。

委員長 小河 俊文

副委員長 宮本 英基

委員

林 司朗

峠田 一也

仲田 芳人

古川 英明

橋本 亨子

岡崎 裕生

議会改革特別委員会

議員のなり手不足を引き起こす様々な要因の解消に関する事項、議会改革に関する事項を調査検討します。

委員長 津島 大孝

副委員長 赤木 三郎

委員は、議長を除く全員

JRローカル線利用促進・存続問題検討特別委員会

JRローカル線の利用促進に関する事項・JRローカル線の存続問題に関する事項を調査検討します。

委員長 岡崎 裕生

副委員長 谷本 浩章

委員は、議長を除く全員

各委員会報告

防衛委員会 消防委員会 総務常任委員会

新しい防災拠点となる新消防庁舎、市役所付属棟が竣工

5月16日（第2回臨時会）、5月20日、6月23日に本委員会を開催し、議案1件、条例2件、陳情1件の審査を行いました。

付託事件の審査

【議案の部】

●議案第7号 動産（消防ポンプ自動車）の買入れについて

●条例第30号 新見市旅費支給条例の一部を改正する条例
●条例第31号 新見市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例

以上3件の議案について、原案のとおり可決しました。

【請願・陳情の部】

●陳情第3号 政党機関紙の

庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情書

陳情者による趣旨説明を聴取し、陳情内容に対する質疑を行った。本陳情は、ハラスメント防止の観点から、実態調査や、庁舎管理規則の徹底を求める内容であったが、具体的な問題事例が本市において確認されておらず、現状にそぐわない内容であるため、全会一致で不採択としました。

報告事項について

●秘書広報課：新見市市制施行20周年記念式典のお礼について、市制施行20周年記念講演会（講師：磯田道史）の開催について、市政懇談会「市長とフリートーク」開催日程について

●財政課：新見市財政計画（令和7年度、令和11年度）の公表について

●総合政策課：市民アンケート

トについて、市民センター・連絡所窓口業務の郵便局委託に係る住民説明会の開催について、令和6年度指定管理業務の年度評価の公表について
●消防本部総務課：新消防庁舎の竣工について、令和7年新見市消防操法大会の結果について

●総務課危機管理室：防災について、新見市役所付属棟の竣工について



本庁舎付属棟の外観

調査事件について

委員問

財政について、先進事例では、基金の運用に関して将来負担を少なくする目的で運用されている。新見市も今後、運用を行っていく考えはあるか。

答弁 本市では、公金運用会議を開催し、国債の運用を検討し、財政調整基金から国債の購入を行っている。

委員問 消防署員の定数は、85名になっているが、働き方改革もあり、将来的に定数を増やさないと職員に負担がかかるのではないかと。

答弁 現在の状況では、厳しい状況が続いている。仕事量も増えていることに合わせ、育児休業、県外への研修、災害の大規模化など現場の状況は、過去になかったようなことも増えている。今後85名の定数が適しているか精査して、検討したい。



訓練をする消防署員

6月24日に本委員会を開催し、付託された2議案と陳情2件の審査を行い、委員会発議「本市における買い物困難地域の包括的支援を求める決議」を全会一致で採択しました。

付託事件の審査

【議案の部】

●条例32号 新見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●条例33号 新見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

執行部の説明を聴き、十分な質疑を行った結果、反対討

論はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

【請願・陳情の部】

●陳情第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

本市教育現場の現状を執行部から聴取し、願意相当との意見が多く、全会一致で採択しました。

●陳情第2号 国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書の提出を求める陳情書

陳情者から趣旨説明を受け、慎重審査した結果、国民健康保険制度の持続的運営のためには、国の財政支援が重要であるとして全会一致で採択しました。

報告事項について

●教育総務課：大佐中学校区小中一貫校校舎建設事業について

新校舎の設計図（配置）、今後のスケジュール、現校舎

の跡地と施設の利用計画、開校時の学級規模、地元産材の利用など詳細な説明を受けました。

委員からの「地元産材の利用率は」との問いに対し、担当課は「使用する全木材の約85%が大佐の木」と答弁しました。「児童生徒数の減少に対応した設計か」との質問には、「児童生徒の減少は把握しており、コンパクトに設計している」と答えました。

調査事件について

●委員問 小中学校での授業、プール、部活、下校時の熱中症対策は。

●答弁 服装や家庭からの水分持参、日中の塩分補給、暑さ指数により判断している。プールは立地により条件が異なり、各校が状況に応じて判断している。また、下校時のスクールバス活用の提案だが、今すぐは難しいものの運行規則制定から年月も経過し、学校の様子や気象も変わってきており、必要に応じて見直しを提案していきたい。

本市における買い物困難地域の包括的支援を求める決議

本市における買い物困難地域を包括的に支援するため、下記の事項の実現を強く求める。

- 1 買い物にかかる市民と地域のニーズ及び支援に繋がる資源を調査すること。
- 2 買い物困難地域解消のためのワンストップ相談窓口対応と支援策メニューの充実を図ること。
- 3 買い物困難地域解消に向けた地域計画の策定を支援するとともに、地域に応じた支援策を提供すること。
- 4 持続可能な地域づくりのため、市内全域への地域運営組織設立を促すとともに、地域の「小商い」等の地域自立の取り組みを助長すること。
- 5 買い物困難地域解消に向け、岡山県に地域による店舗開設の補助支援制度の創設を求めること。
- 6 省庁ごとになっている買い物困難支援策を一元化するように国に求めること。

委員問 全児童生徒配布の

タブレットの家庭での活用と、
1、2年生の持ち帰りの必要
はあるのか。

答弁 学習への利用の効果
の高さから使用を推奨してい
る。持ち帰りは学校の状況で
差がある。自宅での活用方法
についても有効な使い方を学
校で研究しており、家庭学習
の課題の出し方にもより、タ
ブレットが必要な日と不用な
日の選択もでき、引き続き、
学校で研究を進めたい。

「寺子屋にいみ」を視察

5月21日㈩に公営塾「寺子屋
にいみ」を視察しました。



寺子屋にいみでの授業風景

建設委員会 産業常任

「憩いとふれあいの公園」遊具更新
事業について報告

6月25日に本委員会を開催
し、付託された1議案（新見
市市営住宅管理条例の一部を
改正する条例）の審査を行い、
全会一致で原案のとおり可決
しました。

報告事項について

●商工観光課：「新見千屋温
泉いぶきの里」及び「いぶき
の里スキー場」の指定管理期
間満了に伴う対応について

本年度末をもって両施設の
指定管理期間が満了する。次
期指定管理期間は両施設とも
5年間であったが、いぶきの
里スキー場については全国的
な雪不足のため、スキー場運
営がますます厳しくなる状況
も想定されるため、次期の指
定管理期間を3年間に短縮す
る。千屋温泉いぶきの里につ
いては長期的な視点を持った
経営計画の立案が可能となる

よう、設定可能な最大の5年
間とする。これまでと同様に
指定管理は個別に更新手続き
の公募を考えている。

●商工観光課：「新見市オリ
ジナルI.C.O.C.Aにーみんポ
イント20倍還元キャンペーン」
の実施について

キャンペーンは7月18日(金)
から8月17日(日)までの1か月
間で、電子マネー決済時に通
常1%の還元ポイントを20%
にし、最大2千ポイントを付
与する。ポイント付与は、9
月5日(金)を予定している。

●移住・定住推進課：移住交
流支援センターの指定管理及
び委託業務について

当施設は今年度末の指定管
理期間の満了に合わせて施設
を直営管理に戻し、相談窓口
を新見駅付近へ移転するよう
準備を行っている。夏頃まで
には決定し公表したい。現在
NPO法人に委託している移
住定住支援業務については、
委託先を公募することにより
良い委託業務にしたい。

●都市整備課：金谷土地地区画
整備事業について

今年度の第1回説明会が南
庁舎で開かれ、地権者76名中
40名の出席があった。今年か
ら2年かけて仮換地指定の協
議を始める。意向調査を夏に
実施する。

●都市整備課：新見市制施行
20周年記念事業、新見市憩い
とふれあいの公園遊具更新事
業について

にーみんをモチーフにした
複合型遊具やインクルーシブ
遊具、アンケート調査で一番
人気があったターザンロープ
を設置するなどを要件に入れ、
プロポーザル方式によって募
集をし、5月30日に審査会を
実施した。今後、10、11月頃
から既設遊具の撤去を行い、
12月までに遊具の製作を終え、
来年3月までの完成を予定し
ている。



憩いとふれあいの公園の遊具

予算決算 常任委員会

定額減税補足給付金給付事業、新見駅バリアフリー化事業、認定こども園等における給食無償化事業などの補正予算を審査

予算決算常任委員会を6月26日、7月2日に開催。今回の一般会計の補正予算額は、2億595万3千円、介護保険特別会計補正予算額は、889万円でした。

このうち、一般会計補正予算の主なものは、**定額減税補足給付金給付事業**（令和6年度の給付に際し、支給額に不足が生じた市民約3千人が対象者）、**新見駅バリアフリー化事業**（バリアフリー化を実施するための測量及び地質調査）、**認定こども園等における給食無償化事業**（必要な施設の改修や備品の購入）などでした。

また、6月定例会最終日の7月2日には、去る6月23日の梅雨前線豪雨の影響で多くの被害（いぶきの里スキー場ゲレンデ、農地7件、農業用施設4件、林道2件、作業道1件、道路61件、河川16件、千屋小学校体育館裏法面の復旧）の**災害復旧事業費**として、

5億4600万円が追加議案として提出されました。両日の審査とも、各議案について、執行部の説明を聴取し、十分な質疑を行った結果、反対討論の発言はなく、全会一致で原案のとおり可決しました。

付託事件の審査での主な質疑

●**予算第21号 令和7年度新見市一般会計補正予算（第3号）**

委員問 不妊治療の対象者や、治療内容の説明を求める。

答弁 対象者は医療保険の適用となる生殖補助医療を受ける者で、内容的には、体外受精、顕微授精などの不妊治療である。

委員問 新見ふるさと祭りへの補助金の内訳を求める。

答弁 総事業費は187万5千円。広報、警備、舞台設営、音響などの費用である。自己資金27万5千円を差し引いた160万円を予算計上し

ている。

委員問 令和6年度の繰越見込額はおよそ幾らか。

答弁 令和6年度の余剰金の見込みは、実質収支で約13億5千万円で、その2分の1を財政調整基金に繰り入れ予定している。

●**予算第23号 令和7年度新見市一般会計補正予算（第4号）**

委員問 今回の農業災害の地域や具体的な災害内容は。

答弁 地区別では、神郷地域3カ所、大佐地域1カ所、千屋・菅生地域7カ所。災害内容は、土砂の流入、田んぼの畦の崩壊といった災害である。

委員問 この度の災害では、予算措置が十分か。また、激甚災害指定の可能性はあるか。

答弁 今回の災害復旧事業については、全体の災害の復旧に対する予算を網羅しているものと考ええる。激甚災害になるかどうかは、時間がかかり現時点では分からない状況である。

9月定例会（予定）

26日	25日	24日	22日	19日	18日	17日	16日	12日	11日	10日	9日	8日	5日	9月1日
(金)	(木)	(水)	(月)	(金)	(木)	(水)	(火)	(金)	(木)	(水)	(火)	(月)	(金)	(月)
本会議 閉会	議会運営委員会	委員会（予備日）	議会広報特別委員会	JRローカル線利用促進・ 存続問題検討特別委員会 議会改革特別委員会	予算決算常任委員会	予算決算常任委員会	予算決算常任委員会	産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務消防常任委員会	本会議（予備日）	本会議・一般質問	本会議・一般質問	本会議 開会

表紙写真は、保育所・認定こども園（10カ所）から提供いただき掲載しました。今後も、子どもたちの笑顔あふれる写真の掲載を予定しています。

表紙写真について



国に意見書を発議

発議第8号 「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書」

【要望事項】

- ①高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、小学校・中学校・高等学校における30人学級等さらなる少人数学級について検討すること。
- ②学校の働き方改革・長時間労働縮減を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- ③自治体で国の標準を下回る学級編制基準の弾力的運用ができるよう加配の削減は行わないこと。
- ④新規採用を持続的に確保し、教職員が専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、教職員の処遇改善に必要な財政措置を講じること。
- ⑤教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

発議第9号 「国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書」

【要望事項】

- ①国民健康保険財政への定率国庫負担を増額すること。

14人で市長・市議同日選挙実現を目指す議連設立

5月29日、15議員中14議員の賛同を得て「市長・市議会議員の同日選挙実現を目指す新見市議会議員連盟」（同日選挙連）を設立しました。

会則の目的には、「市長選挙と市議会議員選挙を同日に行うため、その事例や方法を調査研究の上、早期に同日選挙を実現し、低下傾向の投票率向上と選挙経費の軽減を図る」ことを掲げています。

具体的な活動としては、①同日選に関わる法令や事例の学習会開催、②すでに同日選を実施している先進事例の視察研修、③市民団体等との意見交換会などを決めました。

役員は、会長に古川英明議員、副会長に谷本浩章議員、事務局長に仲田芳人議員を互選しました。

本市の同日選をめぐる動きは、令和2年9月議会で、市長・市議同日選のための「議会の自主解散を求める請願」を不採択としました。昨年9月議会では、議員発議により、同日選執行のための「措置を講ずる決議」が、賛成少数で否決された経緯に加え、市民の同日選を求める根強い声を踏まえ、改選後、早い段階での議連設立となりました。

今後、視察や市民との意見交換等を踏まえながら、役員任期の2年後を目途に、議連としての同日選への考え方を取りまとめ提示します。

なお、市長の任期は令和10年12月まで、市議の任期は令和11年4月まで。



新見青年会議所による同日選を求める署名活動（令和2年6月）

6月
定例会

一般質問



(議員紹介)

無所属 みんなのいみ

ふるかわ ひであき
古川 英明



高校生議会の開催について

問 新見高校生による議会への陳情を高校生議会に移行したかどうか。また、市内の若者の思いや考えを市政に反映するシステム構築の考えはないか。

答 高校生議会に関しては、前向きに検討したいが、本年度は県議会主催の「岡山県高校生議会」への参加を新見高校に提案している。今後若者の意見や思いを吸い上げる機会をしっかりと確保していき、多くの若者に参加してもらう

ため、募集方法や開催方法を工夫していきたい。

子どもの医療体制の充実に ついて

問 医療に対する経済的支援や、乳幼児への子育て支援は充実しているが、万一の時の子どもの病気やけがへの親の看護力向上のため、対処法を学ぶ講習会を小学校などで実施したかどうか。

答 小児科医や消防署職員が小児のかかりやすい病気や緊急時の対処法を学ぶ育児教室を実施したり、乳幼児健診時にリーフレットを配布したりして、不安軽減に努めている。引き続き、家庭の看護力向上に努めたい。小学校以降の講習会については、要望があれば実施している状況で、今後現場の状況を加味しながら研究していきたい。

市街地循環バス「ら・くるっ」との利便性向上について

問 「ら・くるっ」の運行範囲拡大を要望する声が多いが、どのような課題があるかまた、運行範囲拡大について市はどのような方針か。

答 課題としては、乗合タクシーとの利便性を高めるための結節点の変更、乗務員の確保等があげられる。要望を受け、令和8年度から2台体制にするが、運行範囲は都市計画区域内の範囲で進めていきたい。市内には多くの公共交通があるので、乗降者数が少ない便は廃止を検討する。



市街地循環バス「ら・くるっ」

日本共産党

はしもと きょうこ
橋本 亨子



新見公立大学について

問 令和6年度の監査結果報告で、「大学が8分の1の土地と建屋を独断専行し、拙速に買収している。防災拠点整備ということで広場・野球場・テニスコートなど整備を想定しているが事業の進め方はずさんで用地が適地なのか疑問。計画には問題・課題・不明な点が多く、監査委員としては用地を元の地権者へ返還し事業の中止が必要である。」と厳しく指摘された。どのように受け止めているか。

答 真摯に受け止め、設置者として適切に対応していく。法的な問題もあるので弁護士など専門家と協議しながら検

討していく。

問 用地の取得について設置者である市長の承認はあったのか。

答 大学から複数回説明はあったが承認はしていない。

問 総事業費は想定額の6億6千万円を超えるのでは。

答 まずは、スクリーニング調査の結果を基に設置者として責任ある態度で臨んでいきたい。

問 大学運営費交付金での調査費1500万（2分の1）の支出は凍結を求める。

答 大学運営に支障があつてはいけなもので市が支出する。
問 監査の結果に対する納得のいく回答を議会に示してほしい。



大学が買収した用地

答 市の考えを取りまとめ、議会にも説明を行いたい。

小中学校の学校給食費の完全無償化について

問 物価高騰による影響は。

答 一食当たりの単価を20円増額している。増額分は、にーみんポイントを年間4千ポイント増やして付与している。
問 にーみんポイントの活用状況は。

答 1回目95・34%、2回目97・36%活用されている。

問 ポイント付与でなく、完全無償化にできないか。

答 ポイント付与は、経済的な支援を目的に実施しており、アレルギーや長期欠席者など給食を食べない人にも付与できる利点がある。市内の消費喚起の効果も期待できる。メリット、デメリットを精査し、来年度から無償化の在り方を検討していく。



無所属 志政会

堀江 裕
ほり え ひろし



金谷土地区画整理事業について

問 本事業の造成手法において、需要予測に即した段階的整備の導入は可能か。

答 道路や公園、宅地等を同時に整備する手法であり、段階的整備を行うことはできないが、造成を終えた土地から順次、所有者が利用できることとしている。

問 今後の設計や事業計画に用地活用の柔軟性を考慮した設計・ゾーニングを反映させる可能性はあるか。

答 事業実施後の円滑な土地利用を促すため、換地計画の中で、地権者の意向を尊重し、土地の配置や用途のゾーニン

グを検討していく。

問 保留地の売却が進まなかった場合、価格の見直し、用地活用の再検討などリスクへの備えを検討しているのか。

答 本年1月から4月までサウンディング型市場調査を実施した。いただいた意見を参考にしながら早期に売却できるように努めていく。

問 総事業費、並びにそのうち市が最終的に負担する見込み額はいくらかと想定しているか。

答 総事業費は、土地区画整備事業として約38億円、関係事業費として約29億円、合計約67億円となっている。市の負担額は、約17億円と試算している。

問 長期的な財政負担についてはどうか。他の重要施策や福祉予算が圧迫されるようなことはないか。

答 国庫補助や地方債を活用し進める。実質的な負担は3分の1から4分の1程度。将来的な負担を残さないよう努めていく。

問 定住促進の観点から完成後「人が住み続ける場所」として機能することが重要と考えるが、本事業と他の施策をどう組み合わせる推進するのか。

答 人口減少対策にとって非常に重要な事業。魅力的な新市街地を整備し、移住定住や子育て支援策と連携させていく。防災力強化もはかり、市民の安全安心につなげていく。未来への投資であり、強い使命感を持って取り組む覚悟である。

公明党

きのしたともよし
木下智義



観光振興への取組について

問 令和6年度の市主要観光施設の入り込み客数は、前年

比113.7%となった。主な要因は何か。また、令和7年度の見込みは。

答 令和6年度は9月から11月に開催された「森の芸術祭 晴れの国・岡山」で満奇洞・井倉洞など作品展示会場に来場者が集中したことが最大の要因。また、いぶきの里スキー場が豊富な降雪で営業日数を伸ばしたことや周遊型バスツアー助成制度をはじめとする支援策により、千屋温泉の団体客の誘致や神郷温泉でのスポーツ合宿の増加が主な増加の要因。令和7年度は大型誘客イベントがなく減少が懸念されるが、第3次新見市総合計画後期行動計画の目標値43万人を達成するため各観光施設とアドベンチャーツアーなど新たな観光コンテンツ造成とPR強化で誘客を図る。

問 「外国語に対応した観光ホームページやパンフレット等による情報発信を行ないます。」とあるが、現在の状況は。各観光施設での対応状況は。

答 本市の公式観光ホームページ

ーじにおいて英語・韓国語・中国語での閲覧が可能。パンフレットは英語・中国語版を作成し、インバウンドへの体制に備えている。今年度は英語・中国語などの多言語音声ガイドを満奇洞に導入。さらなるインバウンド需要を見据えて、新たな観光レンタカー助成制度や各観光施設事業者を対象にした研修の実地を予定している。

問 新見市内の観光スポット・観光施設・公園・グラウンド等、人がよく集まる場所に立体的な「にーみん」若しくは等身大パネルの「にーみん」を設置しては。

答 にーみんは、子供から大人まで大変人気のあるキャラクターである。観光施設等にフォトスポットを設置することとは、観光コンテンツの知名度の向上や観光誘致になる。今後ニーズや設置場所等について研究調査をしたい。



にーみん

無所属

おかざきひろお
岡崎裕生



健康福祉のまちづくりについて

問 本市の目指す地域共生社会の実現とは。

答 従来の保健福祉サービスの制度の狭間の課題も顕在化しており、対象者の状況に目を向けて包括的に相談・支援を行う体制を構築していく。そのために、地域共生社会推進本部を設置する。公立大学とも連携し、健康福祉に関する専門的知見や学生・教員のマンパワーを生かしていく。縦割りや支える側・支えられる側といった関係を超え、行政や地域が地域課題の解決を目指してつながっていく気運の醸成を行っていく。

問 障がい者のグループホーム設立に対する助成の拡充はできないか。

答 国の制度や市の支援で厚い支援をおこなっている。使用しなくなった市所有の公共施設についても、使えるものがあれば検討していく。設立を希望する事業者と相談しながら進めていく。

問 米価や物価、人件費の高騰に対して、障がい者福祉施設や事業所にさらなる支援はできないか。

答 障がい福祉サービス事業所物価高騰対策緊急支援金で支援を行った。国や県の動向を注視していく。

問 施設外就労助成をはじめとする本市独自の工賃助成はできないか。

答 それぞれの事業所での努力と考え、直接の工賃支援は行っていない。障がい者自立支援協議会と連携し、普及・啓発や販売促進に取り組んでいる。引き続き、販売や就労の支援にも取り組んでいく。

問 乳幼児・高齢者・障がい者・病人のいる世帯について、

「おもつ専用収集袋」の配布はできないか。

答 現時点では専用袋の配布は考えていないが、他の方法も含め、調査研究を進めたい。

問 0歳から2歳の保育料無償化は実現できないか。

答 充実した保育サービスを行的っており、現時点では考えていない。

問 障がい者関連の福祉施設や事業所の定期的な訪問はできないか。

答 足を運びながら皆様と共に歩んできたい。

無所属
谷本 浩章
たに もと ひろ あき
QRコード



本市の医療の状況について

問 病院、診療所の開設状況と医療スタッフの確保状況は、

答 旧新見市4病院12診療所、旧大佐2診療所、旧神郷4診療所、旧哲多2診療所、旧哲西1診療所である。スタッフの確保状況は、へき地診療所の医師、自治医大卒業医師2名及び岡山大学地域枠卒業医師4名を配置。看護師は看護学生奨学支援金給付制度や看護師定着奨励金制度で確保に努めている。

問 看護師確保の制度の活用状況は。

答 これまで奨学支援金で50名、看護師定着奨励金制度で現在7名を認定。今後も医師会、看護協会と連携して医療従事者の確保に努めたい。

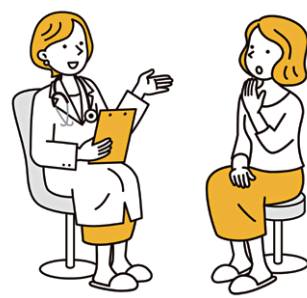
問 新見市休日診療事業における診療件数状況は。また、一次・二次救急の割合は。

答 令和4年度2278件、5年度2441件、6年度2270件、一次救急の割合は、令和4年度92・4%、5年度93・7%、6年度92・3%である。

問 医師会に働きかけをし、休日診療所の拡充を図るよう要望するが、執行部の考えは、

答 今後の体制については医師会と協議していく。

意見 休日診療所の拡充は、適切な医療機関の機能分化に繋がり、休日診療所の拡充を強く要望する。



問 救急搬送をした人数の推移状況は。そのうち軽症者の割合の推移状況は。

答 令和4年1522人、5年1605人、6年1632人である。軽傷者の割合は、令和4年27%、5年29%、6年17%である。全国の軽症の割合は40〜50%前後であるが、本市は、市民が救急車の利用について高い意識を持っていると思われる。

問 救急車の適正利用についての取組は。

答 公共施設等にポスター掲示及び、各媒体を活用して広報に努めている。

問 ドクターヘリ、ドクターカーの利用状況は。

答 ドクターヘリの利用は令和4年39件、5年48件、6年61件、ドクターカーは4年0件、5年3件、6年4件である。

無所属 志政会

橋本 尚典



部活動の地域展開について

問 市内中学校の部活動の実施状況と指導体制については。

答 5つの中学校で11種類の部活動を実施しており、3校に8名の指導員を配置している。教員の指導を補完する体制となっている。

問 少子化による影響と部活動の維持に向けた考え方は。

答 少子化により部員不足が進み、種目によっては単独で

の維持が困難になる見込み。活動種目の精選も必要と考えている。

問 本市における部活動地域展開の計画と現段階の取組については。

答 推進計画や素案はまだ策定していないが、令和7年度から剣道をモデルとして、地域クラブ設立に向けた実証研究を開始する予定。

問 剣道をモデル種目とした理由と目的は。

答 剣道は地域に指導者の協力実績があり、部員数も少なく導入しやすいため選定。課題や実務的な対応を検証し、他種目への展開の足がかりとする。

問 地域展開によって得られる子どもや教職員への効果は。

答 子どもには多様な活動機会と専門的な指導を提供でき、教職員には指導負担軽減や働き方改革の一助となる。

問 指導者の確保、財源、保護者負担に対する考え方は。

答 現時点で指導者候補は把握していない。今後は関係団体と連携し確保を図る。財源

や保護者負担については調査研究中で、持続可能な仕組みを検討する。

問 地域団体や民間との連携、情報発信体制は。

答 総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団などと連携し、意識醸成を図っている。情報は学校を通じて周知し、市報やホームページ等でも発信を予定。民間との連携は未検討だが今後模索していく。

無所属

嶋田 一也



青少年の健全育成について

問 市スポーツ少年団の過去5年間の登録団数及び団員数の推移は。また、活動補助金は十分と考えるか。

答 令和2年度31団体588

人、3年度31団体534人、4年度26団体511人、5年度27団体499人、6年度26団体473人で、減少傾向にある。一人当たりの補助金は平成26年2994円に対して、令和6年度は3234円と増加。増額の予定はないが、物価高騰などの社会状況や各団の決算状況を見て、必要であれば検討したい。

問 全国大会に出場する選手の激励金はいくらか。また、その額で十分と考えるか。

答 市の基準は個人1万円、団体1万円×選手数（上限10万円）。奨励金は、遠征費の一部を補うほか選手の努力を公的に称えることでスポーツへの関心を高め、青少年の健全育成と競技力の向上を促す施策である。選手が全国大会で活躍すれば、市の知名度も高まり将来的な交流人口も期待できる。高校生以下の団体の上限を見直し、人数制限なしの方向で8月からの実施を検討したい。また、個人の額も前向きに検討したい。

問 公営塾「寺子屋にいみ」を希望する周辺部の児童生徒について通塾時間や交通手段への配慮は。

答 令和7年6月現在152人が入塾しており、15人が体験受講中。遠距離通塾者にも配慮して、土曜日は10時から20時まで開講しているほか、本人や保護者の希望を聞いて時間割を調整している。将来的には、オンライン授業も検討している。



寺子屋にいみの授業風景

問 放課後児童クラブのさらなる充実を図ってはどうか。

答 支援員・補助員の人材確保が最優先と考える。連絡協議会は令和5年7月以降開催していない。今年度は事前説明会を活用し、意見交換の場としたい。クラブ間の人材派遣や国の補助金を使ったアドバイザー派遣も検討したい。

無所属
津島大孝



今後の市の事業について

問 金谷土地区画整理事業について今後のスケジュールは。

答 本事業は、移住定住にとって重要な事業で、本年度から2年かけて換地業務を行い、令和9年度より工事に入る。

問 大佐中学校区小中一貫校校舎新築事業について今後のスケジュールは。

答 本年7月末に詳細設計が終わり、11月に工事を着工し、令和9年春の開校を目指す。

市内の買い物困難者について

問 買い物困難者についての対応は。公設民営の販売所の

設置はできないか。

答 買い物困難地区に公設民営の常設販売所は、課題が多いが研究する。

旧哲西町が合併する前にNPOきらめき広場に拠出した補助金について

問 合併後10年間の活動資金として8千万円拠出しているが、残金はあるのか。

答 補助金は令和2年度末で0円となっている。

無所属 みんなのにいみ

仲田芳人



花であふれるまちづくりに

問 花は人々の笑顔や語らいを生み、人を集める力がある

花であふれる新見市づくりを進めてはどうか。また、羅生門さくら公園などの花だよりを発信してはどうか。

答 地域運営組織を通じて花を地域全体に広げてもらいたい。行政も地域を後押しする。羅生門さくら公園は、市外からも集客できるスポットで、開花状況を正確に把握し、放送局や関係機関に情報提供できるように考えたい。市内には様々な花の名所があり、更なる集客を図るため、開花情報のホームページ公開も前向きに検討したい。

農業と地域の未来について

問 農業従事者が高齢化し、農地集積が進むほどに、農業経営の必要が増すはず。新見高校で農業経営を学べる学科を考えてはどうか。

答 学科新設は、高校魅力化の観点からも重要なことと考えている。高校と協議し、県教委においても議論の上決定されるため、時間が掛かることも想定される。農業経営を

学ぶことは必要であり、生物生産科の教育課程にある農業経営の科目の授業内容充実を求めたい。

たらのしょう

問 福井県小浜市太良庄の「地域まるっと中間管理方式」を農地集積手法として本市でも取り入れてはどうか。

答 農地を守る有効な手段のひとつで、研修会の開催や視察を含め、調査検討したい。

没後150年・方谷さんからのまちづくりを

問 官民一体で没後150年記念事業として、勝海舟の直系子孫の講演会やフレーム切手発行を企画してはどうか。

答 没後150年の来年は、広く方谷さんの功績を伝える



市役所前の丸川松隠さんと山田方谷さんのブロンズ像

大切な節目になる。官民一体での記念事業開催に向け、関係団体等と協議し、講演会や切手など方法や内容や時期を検討したい。



方谷園の遺蹟碑

無所属

あかぎみつお
赤木三郎



本市職員の現状について

問 業務上必要な資格取得に要する経費について助成制度があるが、利用状況はどのようになっているか。

答 公務遂行上、有用と認め

られる資格等の取得に要する経費を対象に受講料等の2分の1以内で上限5万円を助成するものである。

問 昨年度の利用状況は。

答 大型1件、準中型2件、消防職員の利用があった。

問 消防職員の自費、公費負担の資格は何か。

答 大型、中型、準中型と自費で取得している。一方、全額公費負担の資格は玉掛け、小型移動式クレーン、救急救命士、ドローン操縦士、小型船舶操縦士などがある。

問 大型免許は業務上必要な資格では。

答 自動車免許は採用条件に1年以内に準中型免許を取得する。(消防ポンプ自動車に必要)5年以内に大型免許の取得が望ましい努力目標になっている。市役所業務以外で汎用性の高い個人資格のため、一定の個人負担が必要である。

問 休暇制度の現在の利用状況はどうなっているのか。

答 6月1日現在、育児休業14人、病気による休職者2人、うち消防職員は育児休業1人。

問 消防職員の定数について、現在の職員数で業務に支障はないか。

答 条例定数85人に対して、職員数85人。研修や育児休業利用により一時的に不足が生じ、勤務体制維持に苦慮している。

問 消防職員の年齢構成は。

答 55歳以上が3人、(このうち定年64歳1人、65歳2人)21～30歳23人、31～35歳9人である。

問 55歳以上の職員が定年退職まで働いた場合、来年、再来年は募集ができるのか。

答 中途退職者が出ない限り、令和12年まで採用ができない状況である。

問 若い職員が育児休暇を数名取った時に業務に支障は。

答 長期休暇の取得が複数重なるとうち長期にわたる勤務体制の維持に苦労する。



新消防庁舎の外観

市民の声

みなさん、こんにちは。この「市民の声」コーナーは、担当議員が皆様の元に出向き、インタビュー形式でご意見要望等をお聞きしたものです。

今回は、30代男性2名（Aさん、Bさん）をお訪ねしました。（赤木三郎）

■「議会だより」の感想は？

- ・存在は知っているが中身を見たことが無い。またどこで議会だよりを見られるのかわからない。（Aさん）
- ・見た人はフルカラーなのが見やすい、議会だよりを一通り見ると定例会の様子がわかるのでいい。（Bさん）
- ・SNSなど発信してもらい、気軽に若い年代の人に見えるような工夫をしてほしい。（Aさん・Bさん）

■市政・議会への要望は？

- ・議員さんがどのような活動をしているのかわからない。議員さんと意見交換できる場がもっと有ってもいい。（Aさん・Bさん）
- ・これから行う、また行うことが決まった事業など市民全員に周知をしてほしい。（Aさん・Bさん）

■新見市の将来について

- ・新見市に魅力が少ない。新見市で結婚・育児を考えられない。（Aさん・Bさん）
- ・若い人が結婚できない。新見から出ていく現状なのでそこを手厚く支援してほしい。（Aさん・Bさん）
- ・「ソフトボールのまち」と掲げるのであれば、胸を張って言えるように新見市はソフトボールにもっと力を入れ広くPRして欲しい。（Aさん・Bさん）

お問い合わせ先



募
集
し
て
く
だ
さ
い。

議
会
事
務
局
に
電
話
い
た
だ
く
か、
二
次
元
コ
ー
ド
か
ら
応
募
し
て
く
だ
さ
い。

○応募方法

（先着順）

令和7年8月29日（金）まで

○応募期限

程度）への参加

2 モニター会議（年2回

面構成等への意見など

や「市議会だより」の紙

問・各委員会の運営内容

1 新見市議会の一般質

○活動内容

有する18歳以上の方）

10人以内（市内に住所を

○募集人数



ご意見・ご提案は

新見市議会事務局内
議会広報紙編集係

〒718-8501

新見市新見310-3

電話 0867-72-6151

FAX 0867-72-6183

メール

gikai@city.niimi.lg.jp



今後、市民の皆様が「読んでみよう」と思える広報紙となるよう、見せ方や伝え方に工夫を重ねていきたいと考えております。引き続き、ご意見や感想をお寄せいただければ幸いです。（橋本 尚典）

6月定例会では11人の議員が一般質問を行い、多様なテーマにわたる議論が活発に交わされました。私自身も一般質問に登壇し、限られた紙面の中でその内容を簡潔に伝える難しさを実感しました。伝えたいことを整理し、読者にわかりやすく届ける編集の奥深さを学んだ次第です。

このたび、新人議員として初めて議会広報紙の編集に携わる機会をいただきました。先輩議員の皆さまと意見を交わしながら、一つひとつ確認を重ねて紙面を作り上げていく過程は、大変勉強になりました。今回の広報紙では、初めての試みとして新見市内のこども園の子どもの笑顔を表紙に起用しました。市民の皆さまに親しみをもって手に取っていただけるよう、温かみのあるデザインを意識しました。

編集後記